

NPO法人若者就職支援協会 広報第四号 Young Employment Support Association (略称YES)

代表挨拶



NPO法人若者就職支援協会
理事長 森智洋

注意しながら不自由な「新しい日常」をお過ごしのことと思ひます。

YESでも遂に九月よりキャリア教育授業が再開しました。新型コロナの感染防止対策として学年一齊の授業が、ほぼ無くなり、クラスごとの授業になるなど若干の違いはあります。大枠では以前と変わらないかたちでの授業が

○発行日：令和二年十一月十五日（日）
○発行：NPO法人 若者就職支援協会
東京都足立区千住旭町36番5号
○発行人：森智洋

実施出来ております。

九月から十二月までの四ヶ月間で十九回の授業が行われます。半年間の学校閉鎖を取り戻す勢いでの授業実施です。このまま順調に進めば昨年の中程度の実施数になります。誠にありがとうございます。

コロナ禍の中、感染防止に注意しながら不自由な「新しい日常」をお過ごしのことと思ひます。

このように今のところ順調に団体が活動できていますのは、多くの支援者の皆様のご協力とボランティアスタッフの皆様のご尽力のお陰と感謝いたします。

今号では当協会のスタッフから実際に新型コロナの影響で、どのような業務の変化がございましたが、今後ともYESを何卒宜しくお願ひ致します。

トのような感じになってしまいますが、当協会の現在の活動の実態を知っていただくよい機会になればと思います。コロナ禍という大きな変化にも負けずに対応している姿をご覧ください。

当協会のスタッフには、この業務を本業として行っています。一人もおりません。皆、ボランティアとして活動に活動は維持しております。その人の力が集まって当協会の活動は維持されています。その具体的な姿を見ていただければありがたいと存じます。

コロナ禍での変化に対応するためには、団体は変化し、また個人も変化していきます。そして、また、その支え合いの中で、お互いが向上していく。

そのような団体を目指し、こ

れからも歩んでいく所存でございます。今後ともYESを

何卒宜しくお願ひ致します。

副理事 鈴木 権悟



コロナ禍での授業の実態

皆さんお久しぶりです。副

理事の鈴木です。寒い時期になりましたが皆様体調の程はいかがでしょうか。

今年度は新型コロナウイルス感染症に見舞われて初の授業は二学期以降からのスター

トでした。

ちなみに皆様は当協会の三つのプログラムをご存知でしょうか？

「ネガポジ流自己分析未来ワーク」、「失敗人から学ぶ未来人講和」、「最低限！知っておきたい労働法規」という三つのプログラムの授業を行っております。三つとも導入部分は当協会の紹介やイラストを使った「先入観」のワークを行い後半は各タイ

り授業の進行をするMCの役割の方が一～二名。その他に生徒たちと対話し共に考えるスタッフが数名おり一～二コマの授業をクラスごとや体育館などで一斉に行っております。



トルに則ったワークを行っております。授業の際に教壇に立ち授業の進行をするMCの役割の方が一～二名。その他に生徒たちと対話し共に考えるスタッフが数名おり一～二コマの授業をクラスごとや体育館などで一斉に行っております。

この授業を始めるのにあたってまず一番大事なのは何でしょうか。それは「あいさつ」なんです。生徒たちの若さ、パワーに負けないように「あいさつ」を元気よくするというのが当協会の決まり。

元気よく挨拶されたら「この人達はなんだろ？」と疑問から興味が出たり、どこか気持ちよくなったりしませんか？コロナ禍で暗くなりがちな時だからこそ、なおさら私達は「あいさつ」を大切にしております。

その後のワークでもMCを中心には生徒たちへの声掛けを



欠かさないようにするのも私達のスタイル。たとえ授業と関係の無い話で生徒たちが盛り上がっていたとしても遮ることなく会話の輪の中に入っていくのは、もしかしたら他の方達から見たら不思議な光景に見えるかも知れません。しかし、それを良しとしているのが私達の授業なのです。

つらつらと書かせて頂きましたが文章では伝わらないその場の空気感。これは実際に参加してみないと分からぬと思います。もし気になる方は当協会までご連絡下さい。

ここでは、Y E Sの運営企画部の島田です。コロナ禍での社会生活への影響ですが、就業先では四月から在宅勤務が無条件で利用可能となり、週二～三日の出勤に変更。十月からは在宅以外のリモートワークも利用可能となりました。社会人研修等はオンラインに移行する研修が増加。全国一斉開催となり、全国の参加者同士でのグループワークが行われ、新たな受講形態が実現しました。九月からは従来型の実研修も再開し、選択の幅が広がりました。

さて、当協会の高校キャリア教育ですが、一学期の開催は全て中止。二学期からは再開の連絡がありました。再開にあたり感染拡大防止対策等が開催条件に加えられました。企画部門としては、参加スタッフに対する感染拡大防

副理事 島田 覚

止策として、当日検温の実施・濃厚接触者との接触状況の確認等といったチェック項目の制定や、授業開催時の先生・生徒等へのソーシャルディスタンスの確保・三密回避・手洗い励行・マスク着用など現地開催運営に関する取扱基準の改定等を行いました。

授業開催形式は、従来からの「一斉開催」を控え「オンライン開催」又は「クラス別少人数開催」を標準とする事に変更しました。これに伴い、開催内容の一部変更（グループワークから個人ワークへの変更等）や時間短縮・時差開催等を行いました。

関係者との事前打合せに関しては直接面談を避けメール・電話等にて行う事に変更。このため開催準備シート等の帳票類に関し、対応できるよう各種改修を行いました。これまでのところ大きな支障もなく授業開催が行われており



ます。参加されたスタッフの皆様に大変感謝いたします。

コロナ禍でも開催日は待つ遅れは許されません。社会の変化に適応し、これからも学校関係者・参加スタッフ等を支えていきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひ致します。

夏半ばに入り少しずつ先が

見えてきたころ学校での授業スタイルが大幅に変わることに。一斉授業ではなく個別クラスでの授業やオンラインでの授業での変更依頼がありま

した。元々、私たちはそもそもクラス数の少ない定時制高校が主だったこともあり、一斉授業（全生徒一斉授業）で対応することが多く、個別クラスとの授業対応が不十分でありました。M.C.担当（メ

YES 創業者・理事 黒沢 一樹

創業者のネガボジ先生こと黒沢です。「コロナで授業が

全部潰れてしまつた…どうしよう：」こんな思いから始まつた今年度。全ての学校の授業が中止となり、残念さと無力さで胸が埋め尽くされた状況でした。人はなんて無力な生き物なんだろうかと考える日々。私自身の講師仕事も全てなくなつてしまい、今後の不安含めてどんどん気持ちが落ちていきました。

考えた結果、私自身がM.C担当の育成に乗り出し個々に研修をして回る回ることに。私たちの提供するプログラムは、実は緻密に計算された内容なんです。私や副理事のしんごが話をすることが多いいためアドリブで話をしていくよう思われがちですが、プログラムの意味を理解してもらえば、どんな方でも講師として登壇できるようになつてします。人前で話す能力を向上させたい方、参加のご検討をお願いします。

最後になりますが、コロナといつた今まで想像もできなかつた社会情勢となり、前例が使えないことも増えてきました。ネガボジメソッドの中、「ブレることにおいてブれない」という言葉があります。これは「常に変化せよ」という意味。私たちは常に変化を

しながら前に進んでいくことを忘れないようにしたいと思います。

ボランティアスタッフ紹介



**YESキャリア教育事業部
野中 美木子**

私がYESの活動に参加するようになったのは、団体の創設者黒沢一樹さんとの出会いでした。国家試験のための学校で一回だけの講義でしたが、そのおかげで無事資格取得できました。そしていつの間にか黒ちゃんマジックに巻き込まれ、今の私があります。

初めはサポートメンバーでしたが、ネガポジメソッドの講座を受けMC（メイン講師）

を担当する様になりました。

元々喋りの仕事を生業にし、

企業で研修講師をしていましたので気軽に教壇に立ちましたが、生徒たちから様々な洗礼を受けました。高校生は手強く、なかなか話を聞いて貰えず、落ち込むばかりでした。

そんなある時、スタッフとして高校に事前打ち合わせに行く機会があり、定時制に通う生徒が様々な事情を抱えている事を知りました。黒ちゃんが今の定時制の実態は、将来の日本の縮図だと言つていました。実際に話してみると

YESSの活動に参加するようになつたのは、団体の創設者黒沢一樹さんとの出会いでした。国家試験のための学校で一回だけの講義でしたが、そのおかげで無事資格取得できました。そしていつの間にか黒ちゃんマジックに巻き込まれ、今の私があります。

初めはサポートメンバーでしたが、ネガポジメソッドの講座を受けMC（メイン講師）

味もあって、軽い気持ちで参加したのが始まりでした。

二〇一九年二月が初回で十

回ほど参加しました。そのたびに楽しい時間を過ごさせてもらっています。日頃、大人



**YESキャリア教育事業部
磯干健**

こんにちは、ボランティアスタッフの磯干健（いそひたけし）です。時々、授業現場に顔を出させてもらっています。仕事はフリーランスで企業研修講師とキャリアコンサルタントをしています。

YESとの出会いは、既にメンバとして活躍していた知人から「キャリア教育といつても堅苦しくないし、気上げ、話を聞いてくれる様になりました。どう伝えたら、彼らの心に残って行くのか、毎回が試練ですが、生徒たちが、どの様な課題を私に与えてくれるのか、ワクワクする

思つたのと、今の高校生ってどんな感じなのだろうって興

味もあって、軽い気持ちで参加したのが始まりでした。

二〇一九年二月が初回で十

回ほど参加しました。そのたびに楽しい時間を過ごさせてもらっています。日頃、大人

を相手にしている身にとつて高校生とのやりとりは新鮮です。机に突っ伏して寝たり?

してしたり、話しかけても無言で下向く子がいたりとバラエティー豊か。毎回思いがけない場面に遭遇します。しかし、最初は様子見だった生徒たちが徐々にほぐれてきて、発言が活発になってくるのは共通です。授業が終わって何人かに「さよなら」とて挨拶されると嬉しくなります。これからも個性溢れる高校生の皆さんに会いに行きました。

編集後記

コロナにも負けず活動しております。ご支援ご協力よろしくお願いします。（森智洋記）